

健康保険証は市民の命綱

国保の「資格証・短期証」やめて

払えないほど高い国民健康保険料、滞納が1年以上になると正規の保険証が取り上げられ、病院窓口10割負担の「資格証明書」になり、何とか分納で払おうとしても1ヶ月～6ヶ月の「短期保険証」になり、完納しないと正規保険証がもらえません。鈴鹿市では本年10月現在、資格証が1049世帯、短期証が785世帯に交付されています。

私は12月5日の本会議一般質問で、資格証や短期証の発行を見直すよう求めました。資格証発行を市町村に指導してきた厚生労働省は、保険証が交付されずに病院に行けず、手遅れで亡くなる人が問題となった2008年から法改正や通知、国会答弁で、「機械的な運用をせず」「特別な事情の有無の把握を適切に行なった上で」などと慎重姿勢に方向転換、18才までの子どもは除外するなど事実上、資格証明書の発行目的はなくなっています。

横浜市は今年から資格証・短期証とも発行ゼロに

本年8月から横浜市は、資格証・短期証とも発行がゼロになりました。最大5万件もの短期証を出していた横浜市が、なぜか？それは、厚生労働省の通知や国会での大臣の答弁などを正しく受け止めて、「滞納者が『悪質滞納者』だと証明できない限り発行しない」ことにしたから、とのこと。

一方で横浜市は滞納を放置しているのではなく、差し押さえ件数を4倍にふやすなど「取り立て」も進めています。市民にとっては「保険証は取り上げられない」ことで、ちょっと安心です。

鈴鹿市はいまだに、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月の短期証を出すための「取り立てマニュアル」をもち、ムリしてでも払わないと正規保険証を渡さないという対応を続けています。私は「社会保障の窓口で、こんな取り立てマニュアルを物差しに仕事をしていていいのか？」と見直しを求めました。

事故が絶えない交差点への対応策を



いつもガードレールが壊れている現場

深溝町東部の市道交差点は、ひじょうに衝突事故が多く、過去6年間で19件も起きていて、私が知っている人だけでも3人が死亡しています。現場は見通しの良い田んぼの中ですが、それでも事故が絶えません。通行量はさほど多くないので、信号機は付きませんが、地元では「何とか対策を」の声以前から上がっています。

私は本会議一般質問で、「止まれ」表示を近くの交差点のように高い支柱（信号機の高さ）に付ける、路面をカラー塗装するなど、考えられる対策をすべて検討することを求めました。

向いのスーパー店へ国道を渡る横断歩道がない

こちらは自由ヶ丘団地の前を通る国道1号線。信号機のある交差点が2カ所ありますが歩行者用の横断歩道はありません。団地内のスーパーが数年前に閉店し、買い物は1号線を渡った向こうのスーパーに行くしかありませんが、信号で停まった車の前を歩いて通るのは不安です。高齢者が多くなった地域でもあり、広い国道を安全に渡るための横断歩道の設置を、国道管理者や警察とともに検討することを求めました。



団地前の1号線、向こう側がスーパー店

学校トイレの洋式化、来年スタート

6月議会一般質問で共産党の高橋さつき議員が、小中学校のトイレを和式から洋式にと求めた件で、市教育委員会は12月補正予算に、桜島小・神戸小の2校で、2020年の夏休みに工事を行なうための設計費を計上しました。来年度から順次、改築や大きな改修の予定が後になる学校から、前倒しでトイレ工事を進めていくこととして、まず2校から着手します。全市の学校の洋式化のスピードアップが、今後の課題です。

マイナンバーカード 3年間で 全市民に持たせよと国が押しつけ

2016年から国が導入した「個人番号」(マイナンバー)制度は、税や社会保障などに使うとされていますが、各市民にとって特にメリットはありません。日本弁護士連合会は「プライバシー侵害の危険」があるとして、この制度に反対しています。

政府は個人番号と写真入りの「マイナンバーカード」を各人が作れと勧めていますが、身分証明証代わりにする以外に大して使い道もないので、普及率は12%台から上がっていません。そこで焦った政府は本年6月から、マイナンバーカード普及策を大々的に始め、各市町村に促進の計画を立てさせ、高い普及目標を押し付けることに躍起になっています。

鈴鹿市でも「3年後に82%」の普及目標立てて

市は政府の方針に従わされて「交付円滑化計画」を立て、2022年3月には普及率82%を目標に態勢を作ることになりました。(82%とは子どもを除く全市民ということか?)そして12月補正予算には、戸籍住民課に1月から新たに3人の専任の臨時職員を配置する費用(国が100%補助)を計上しました。仕事としては、2月から始まる税金申告の会場を回って、市民にカード作成の申し込みを勧めるとのことですが、成果をどうでしょうか?

政府は22年度までにマイナンバーカードを健康保険証に利用させるつもりですが、国民みんなが個人情報カードを毎日持ち歩くという物騒なことが、そう簡単にできる見通しはなく、莫大な税金のムダ使いに終わるかも?

堺市へ、世界文化遺産・古代の遺跡を訪ねる



「仁徳天皇陵」前でガイドの説明を聞く

11月24日、鈴鹿市共産党後援会の秋のバス旅行で大阪・堺市の百舌鳥古墳群や博物館などを訪ねました。市役所21階展望ロビーから、街中に散在する大古墳を眺め、1600年も昔の権力者や、人々の暮らしぶりを想像しました。車中では「桜を見る会」追及する田村智子参院議員のビデオを見ました。

ずいそう



墮落し切った政治家と官僚

「桜を見る会」疑惑に何も答えることもできず逃げ回っている安倍首相と自民党。これ以上追及されないよう、臨時国会を9日にムリヤリ閉会してしまっただが、前代未聞の「公的行事の私物化」の解明は、むしろこれからだ。

それにしても呆れたのは、内閣府の官僚＝公務員の墮落した姿だ。国会議員が資料要求したその日に、名簿をシュレッダーで廃棄したなどと、子どもでもウソと分かる言い訳を延々と述べている官僚を見ていると、情けないよりも「恐ろしさ」を感じる。それは彼らが、後世に残すべき公文書や様々な記録を、無かったことにしてしまっても平気である、という感覚マヒであり、そしてこの程度の人間たちが、重要な国家情報、外交や軍事の情報、国民の個人情報まで握っているということの恐ろしさである。墮落した政治家の言いなりになる墮落した官僚、それに加えて真実を伝えないメディア・・・日本は一体、どこに向かっていくのだろうか？

記録や公文書、事実まで無いものにする恐ろしさ

かつての日本で、同じようなことがあった。敗戦の直前に日本政府や植民地の政府機関などが、侵略戦争と植民地支配を記録した公文書を大量に焼却した。あの戦争がいかに間違っていたかを記した証拠を燃やして、間違いそのものをウヤムヤにしたのである。おかげで従軍慰安婦や徴用工の問題などを検証することが困難になっているし、今も「問題なかった」「日本は間違っていなかった」などと声高に叫ぶ連中がのさばる原因にもなっている。

テレビの「歴史もの」番組や歴史小説でよく、戦国武将や江戸時代の大名、幕末・明治の政治家などの動きや考えを現代の歴史家が検証しているが、それは当時の記録や古文書がきちんと残されているからである。少々フィクションが混じっていても、証拠となる様々な文書や手紙などの資料が保管されていたから、先人たちの作ってきた歴史を、現代の我々が学べるのである。

いまの安倍政権の時期を、後世の日本人が振り返ったら何と思うだろう？「ひどい奴らがいたもんだなあ」と驚くか、「権力者もひどいことしてるが、国民は黙っていたのか？」「何回も選挙があったのに、どうして変えられなかったのか？」と言われぬか。わが世代の責任重大である。